



さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

2024年3月期第1四半期決算のお知らせ

株式会社 T&Dホールディングス

2023年8月10日



写真は、「Try&Discoverフォトコンテスト2022 ～1枚から広がるしあわせを。～」の受賞作品(一部)です。

Copyright T&D Holdings, Inc. All Rights Reserved.

目次・グループストラクチャー

【決算のポイント】 P. 2

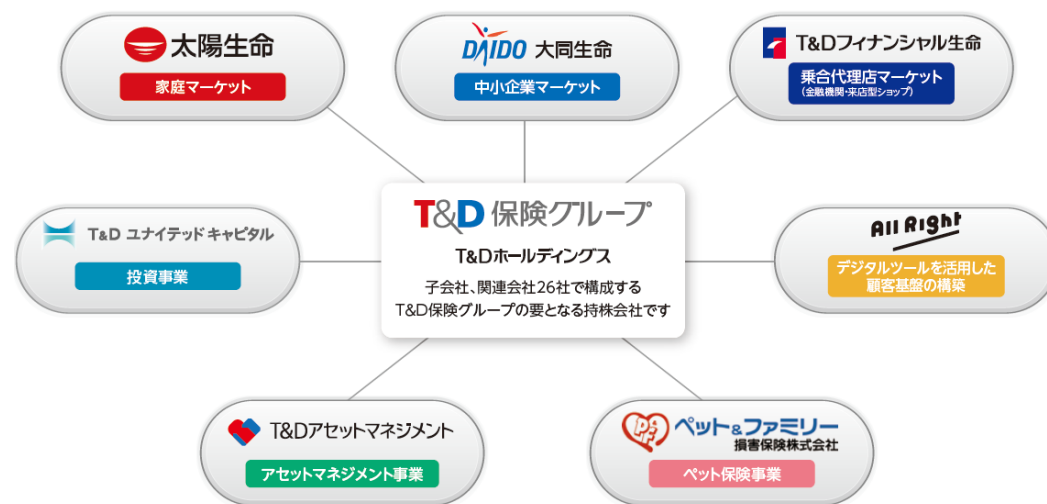
I. グループ概況 P. 3

II. 国内生命保険事業 P. 6

III. 事業ポートフォリオ多様化 P. 11

IV. 業績予想・株主還元 P. 13

V. 参考 P. 14



おかげさまで、T&Dホールディングスは
2024年4月に設立20周年を迎えます。

<本資料における用語の定義>

【連結】 T & Dホールディングス連結
 【太陽】 太陽生命保険
 【TDF】 T & Dフィナンシャル生命保険
 【TDAM】 T & Dアセットマネジメント

【3社合算】 生命保険会社3社（太陽生命・大同生命・T & Dフィナンシャル生命）の単純合算
 【大同】 大同生命保険
 【TDUC】 T & Dユナイテッドキャピタル
 【P & F】 ペット&ファミリー損害保険

【決算のポイント】

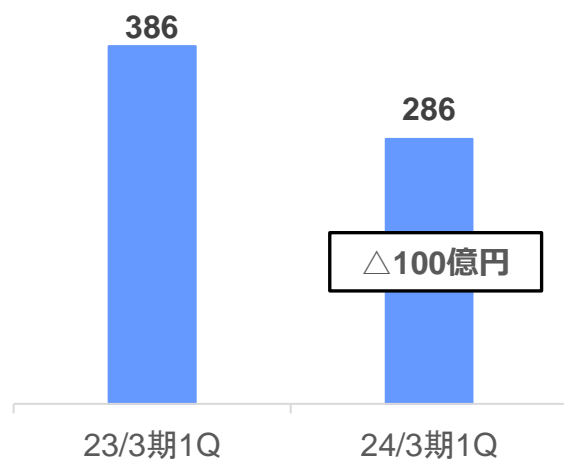
- ・グループ修正利益は、為替ヘッジコストの増加等により前年同期から減少したものの、国内生命保険事業は、主力商品の販売好調により堅調に推移。

	項目	23/3期1Q	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比	主な増減要因
グループ連結	グループ修正利益	386億円	286 億円	△100億円	△26.0%	新型コロナ関連の支払が減少した一方、為替ヘッジコストの増加等により資産運用費用が増加。
	親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△は純損失)	△592億円	189 億円	+782億円	—	海外再保険関連会社において、米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等が発生した前年同期からの反動等。
国内生命保険事業	新契約年換算保険料	368億円	483 億円	+115億円	+31.3%	一時払商品の販売増加や、対面・非対面を融合したハイブリッド営業およびお客さまニーズに丁寧に対応したコンサルティング営業の推進等による主力商品の販売好調。
	保有契約年換算保険料 (23/3末)	15,650億円	15,826 億円 (23/6末)	+176億円	+1.1%	
	保険料等収入	5,331億円	5,575 億円	+244億円	+4.6%	
	基礎利益	418億円	246 億円	△172億円	△41.3%	
クロス事業	修正利益(連結)	106億円	98 億円	△8億円	△7.8%	(概ね前年同期並み)

1. 収益関係

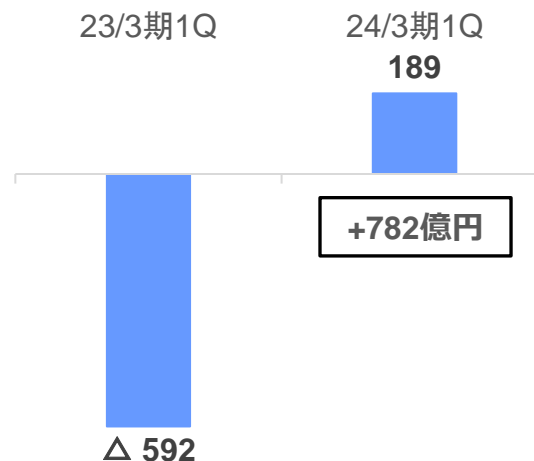
グループ修正利益

新型コロナ関連の支払が減少した一方、為替ヘッジコストの増加等による資産運用費用の増加により、**前年同期から△100億円となる286億円。**
(前年同期比△26.0%)



親会社株主に帰属する四半期純利益

海外再保険関連会社（フォーティテュード社）において、米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等が発生した前年同期からの反動により、**+782億円増加となる189億円。**



【参考】グループ修正利益とは

- 当グループでは、ALM (Asset Liability Management) を実施し、金利リスクを含めた各リスクをコントロールして資産と負債を総合的に管理しています。
 - 一方、保有資産と保険負債の評価方法の違いから会計上の一時的な評価性損益が計上されるケースがあるため、この評価性損益等を調整※した「グループ修正利益」を、経営実態を表す指標としてKPIに設定し、また、株主還元もグループ修正利益に基づいて行っています。
- ※調整の対象は、フォーティテュード社に係る一時的な評価性損益や市場価格調整(MVA)に関連する評価性の損益等。

2. MCEV・新契約価値

- ・生命保険会社の企業価値を評価する指標のひとつであるGroup MCEVは、新契約価値の積上げおよび内外株価上昇等により**前期末から+1,993億円となる35,307億円**。
- ・今期に販売した保険契約（転換契約を含む）から将来生ずる利益を現在価値に換算した新契約価値は、2022年度末に実施した終局金利の変更等により3社合算で**前年同期から△61億円となる402億円**。

■ MCEV

(億円)

	23/6末	前期末差	前期末比
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	35,307	+1,993	+6.0%
生命保険事業のMCEV	36,262	+1,858	+5.4%
うち太陽生命	11,269	+427	+3.9%
うち大同生命	22,926	+701	+3.2%
うちTDF	1,322	+56	+4.4%
生命保険以外の事業に係る純資産	△ 954	+135	-

■ 新契約価値

(億円)

	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比
3社合算	402	△61	△13.2%
太陽生命	100	△52	△34.4%
大同生命	279	△12	△4.2%
TDF	22	+3	+20.3%

※生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV（エンベディッド・バリュー）」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したもの。

※「生命保険以外の事業に係る純資産」には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性損益等を含む。

3. 健全性指標等

- ・グループ連結のソルベンシー・マージン比率は、**前期末から△2.3ptとなる917.8%**。
監督当局による早期是正措置の基準となる200%を上回っており、十分な健全性を維持。
- ・当グループの内部モデルに基づき算出したグループ連結のESRは、**前期末から+8ptとなる238%**。

■ ソルベンシー・マージン比率 (SMR)

	23/3末	23/6末	前期末差
連結	920.1%	917.8%	△2.3pt
太陽生命	580.9%	595.5%	+14.6pt
大同生命	1,116.1%	1,135.1%	+19.0pt
TDF	659.4%	595.8%	△63.6pt

■ ESR※

	23/3末	23/6末	前期末差
連結	230%	238%	+8pt

※ ESRは、経済価値ベースの健全性指標として当グループが導入している指標で、当グループの内部モデルに基づき算出しています。

■ 含み損益 (生保一般勘定)

(億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		TDF	
	23/6末	前期末差	23/6末	前期末差	23/6末	前期末差	23/6末	前期末差
有価証券の差損益	4,032	+1,853	2,724	+1,106	1,828	+989	△520	△242
うち公社債	75	+221	618	+139	△838	+75	295	+6
うち株式	3,206	+704	1,828	+522	1,377	+181	-	-
うち外国証券	554	+758	40	+381	519	+379	△5	△2
うち金銭の信託	△791	△245	-	-	-	-	△791	△245
土地等の差損益	1,540	+0	666	+0	874	+0	-	-

※ 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除く。

※ 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出。

4. 契約業績

- 一時払商品の販売増加や、対面・非対面を融合したハイブリッド営業およびお客さまニーズに丁寧に対応したコンサルティング営業の推進等による主力商品の販売好調により、新契約年換算保険料は、3社合算で前年同期から+115億円となる483億円、保有契約年換算保険料は、3社合算で前期末から+176億円となる15,826億円。

■ 各社の契約業績指標※1（各社の経営目標にあわせて設定している経営指標）

(億円)

	太陽			大同			TDF		
	保障年換算保険料※2			新契約高※3			年換算保険料		
	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比
新契約業績	55	+1	+3.6%	11,165	+557	+5.3%	226	+113	+99.4%
	23/6末	前期末差	前期末比	23/6末	前期末差	前期末比	23/6末	前期末差	前期末比
保有契約業績	1,616	+1	+0.1%	466,421	△417	△0.1%	2,092	+190	+10.0%

■ 新契約年換算保険料※1

(億円)

	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比
3社合算	483	+115	+31.3%
うち第三分野	108	+11	+11.3%
太陽生命	84	△6	△7.7%
うち第三分野	53	+0	+1.1%
大同生命	172	+9	+5.5%
うち第三分野	44	+1	+2.6%
TDF	226	+113	+99.4%
うち第三分野	10	+9	+915.6%

■ 保有契約年換算保険料※1

(億円)

	23/6末	前期末差	前期末比
3社合算	15,826	+176	+1.1%
うち第三分野	2,897	+26	+0.9%
太陽生命	5,708	△19	△0.3%
うち第三分野	1,346	+10	+0.8%
大同生命	8,025	+4	+0.1%
うち第三分野	1,506	+6	+0.5%
TDF	2,092	+190	+10.0%
うち第三分野	44	+9	+27.2%

※1 契約業績指標は、個人保険・個人年金保険の合計。また、新契約業績には、転換による純増加を含む。

※2 太陽生命の経営指標で、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。

※3 大同生命の経営指標で、個人保険・個人年金保険の契約高にJタイプ、Tタイプ、介護リーフa、一時金型Mタイプ等の第三分野の保障金額を加算した指標。

5. 保険料等収入・基礎利益

- ・ 保険料等収入は、T&Dフィナンシャル生命の一時払商品の販売好調等により、3社合算で、**前年同期から+244億円となる5,575億円**。
- ・ 基礎利益は、新型コロナ関連の支払が減少した一方、為替ヘッジコストの増加等による基礎運用収支の減少により、3社合算で、**前年同期から△172億円となる246億円**。

■ 保険料等収入

(億円)

	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比
3社合算	5,575	+244	+4.6%
太陽生命	1,462	△344	△19.1%
大同生命	1,995	+86	+4.5%
TDF	2,117	+501	+31.1%

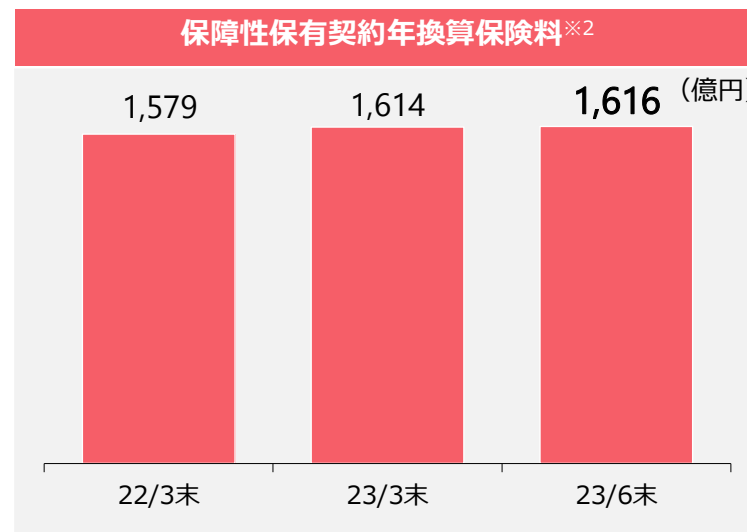
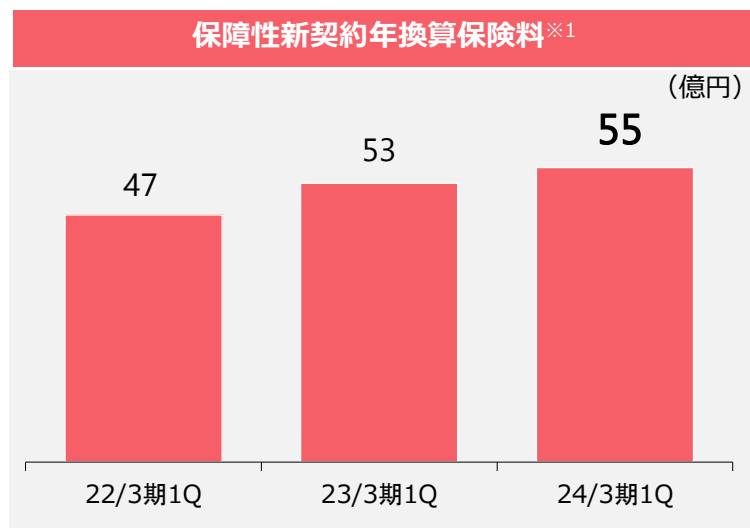
■ 基礎利益

(億円)

	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比
3社合算	246	△172	△41.3%
太陽生命	97	△54	△36.0%
大同生命	143	△108	△43.2%
TDF	5	△9	△63.3%

【参考】 太陽生命

- 保障性新契約年換算保険料^{※1}は、前年同期から3.6%の増加。



- 保障性新契約年換算保険料^{※1}は、インフォーマーシャルやインターネット広告等を経由した情報を活用し、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」の推進や営業職員数の増加、新商品の発売等に伴い、前年同期から3.6%増加。
- 保障性保有契約年換算保険料^{※2}についても、新契約業績が好調だったことを受けて、上場以来最高だった前年度末から増加。

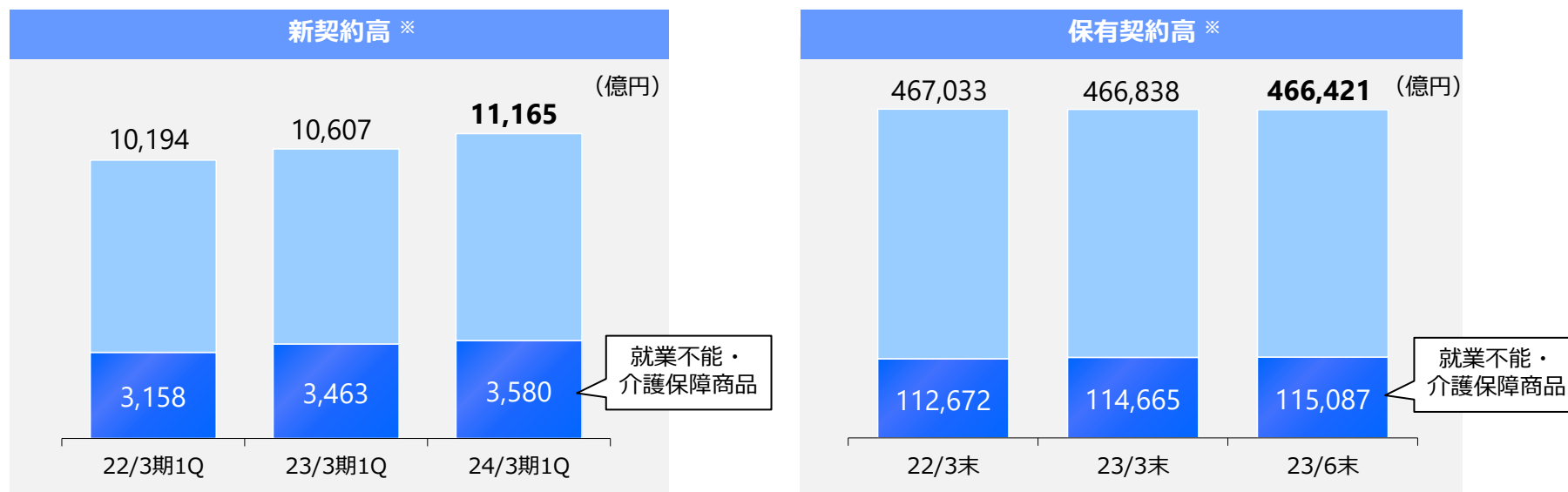
※1 保障性新契約年換算保険料とは、新契約の年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。

※2 保障性保有契約年換算保険料とは、保有契約の年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。
同指標はE Vの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視している独自指標。

- ・ 2023年5月に「告知緩和型がん診断保険」、「告知緩和型がん治療保険」を発売し、お客さまニーズの高い商品提供を行うとともに、DXを活用したハイブリッド型営業のさらなる推進を図ることで、マーケットを拡大している。

【参考】 大同生命

■ 新契約高は堅調に推移し、前年同期から増加。保有契約高は前年度末並みの水準を確保。



- 「新契約高」は、死亡保障だけでなく、就業不能・介護保障などのお客さまの幅広い保障ニーズにお応えする丁寧なコンサルティング営業を実践したことなどにより堅調に推移。「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年同期から増加。
- 「保有契約高」は、「解約失効高」がお客さまである中小企業の資金需要増加などにより増加したものの、「新契約高」が堅調に推移したことにより、前年度末並みの水準を確保。

○ 中小企業のお客さまの課題解決に役立つ様々なソリューションのご提供を通じ、今後も「中小企業に信頼されるパートナー」を目指します。

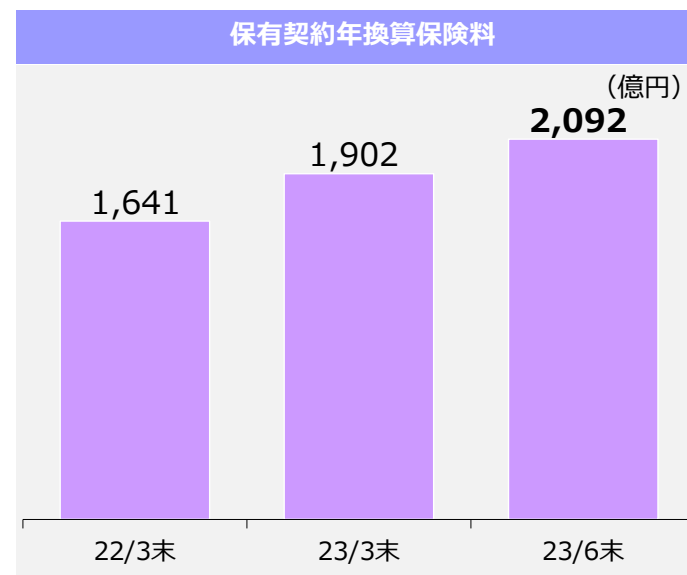
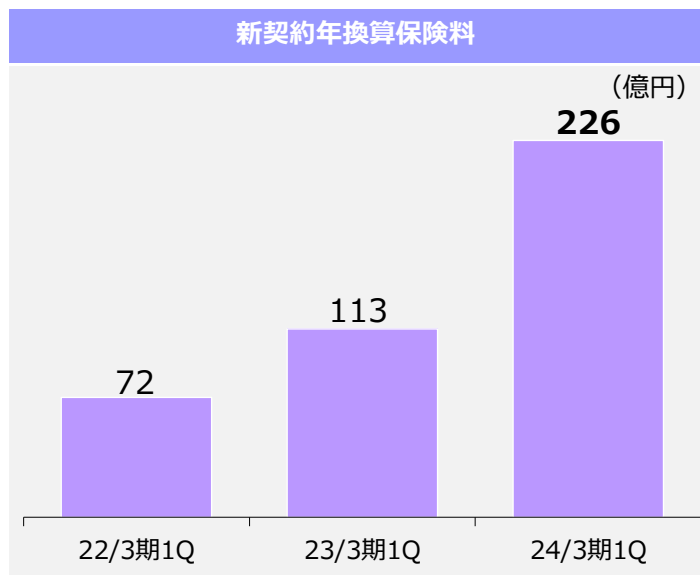
～ 具体的な取組み・成果 ～

- ・ 中小企業向けWebサービス「どうだい？」（2022年3月提供開始）の登録者数は4万名を突破
- ・ 中小企業の健康経営を支援する「KENCO SUPPORT PROGRAM（ケンコウ・サポート・プログラム）」の利用社数は3.5万社に到達
- ・ 「身体障がい者手帳の申請支援サービス」（2023年5月）や個人年金保険の「請求書レス支払」（2023年6月）を開始
- ・ 「診断書取得代行サービス」の対象をすべてのお客さまに拡大
- ・ スマートフォン・パソコンでお手続きいただけるサービス「つながる手続」の対象を拡大（契約者貸付および契約者貸付金返済の手続）

※ 当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リーフα」等の介護保険金額、および「一時金型Mタイプ」の入院一時金額を基準として計上した金額を含む。

【参考】 T&Dフィナンシャル生命

- 新契約年換算保険料は前年同期から約2倍。保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 新契約年換算保険料は226億円、前年同期から99.4%増加。2023年4月より「円貨プラン」を新設してリニューアルした一時払個人年金保険「ファイブテン・ワールド3」の販売が堅調に推移。
- 保有契約年換算保険料は2,092億円、前年度末から10.0%増加。

・ 商品ラインナップのうち、円建カテゴリー充実化のため、2023年4月より「ファイブテン・ワールドシリーズ」をリニューアルし、「円貨プラン」を追加した「ファイブテン・ワールド3」を販売開始。「円貨プラン」は円で着実にふやしつつ、公的介護保険制度の「要支援1」以上から介護・認知症に備えることができる商品。「生涯プレミアムシリーズ」、「ハイブリッドシリーズ」と並んで、同商品の提供により、幅広いお客さまニーズに対応。

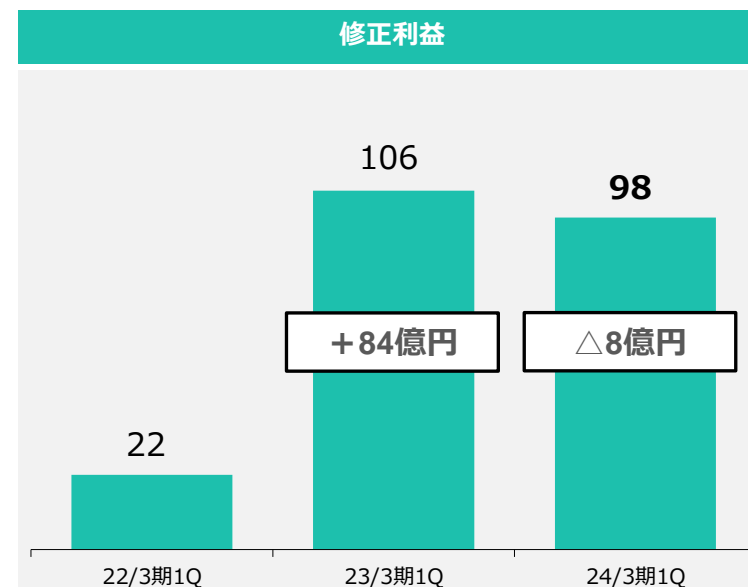
6. クローズドブック事業（TDUC連結）

- 修正利益は、概ね前年同期並みとなる**98億円**。
- 四半期純利益は、前年度にフォーティテュード社※において米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等が発生したことの反動により、**前年同期から+854億円となる△5億円**。

※TDUCの投資先である海外再保険関連会社

(億円)

	23/3期1Q	24/3期1Q	前年同期差
経常収益	1	2	+1
経常費用	889	7	△881
うち持分法による投資損失	884	2	△882
経常利益（△は損失）	△887	△5	+882
四半期純利益（△は純損失）	△859	△5	+854
修正利益	106	98	△8



7. その他の事業ポートフォリオ

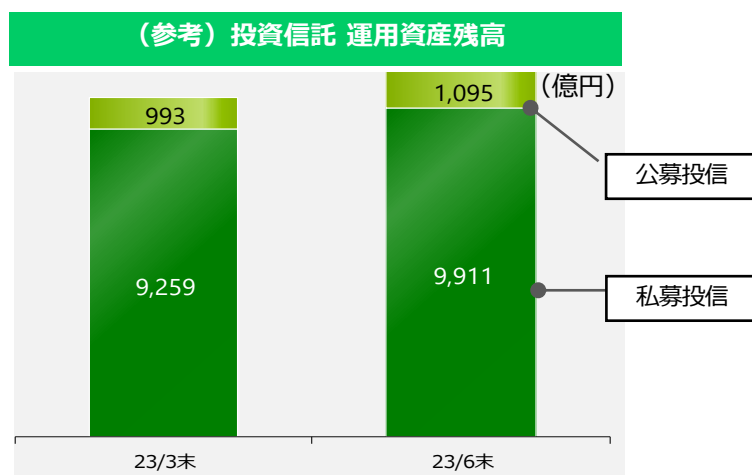
アセットマネジメント事業 (TDAM)

私募投信を中心に順調な資金流入が続き、営業収益・経常利益・四半期純利益は、前年同期から増加。

(百万円)

	24/3期1Q	前年同期差
営業収益 (実質ベース) ※	697	+33
経常利益 (△は損失)	△ 10	+28
四半期純利益	12	+39

※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入

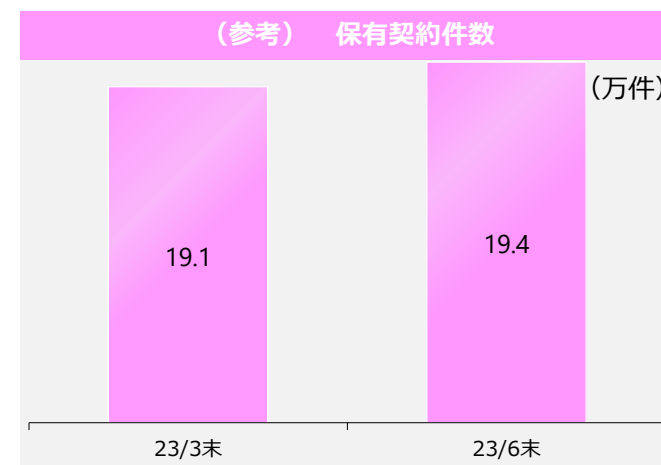


損害保険【ペット保険】事業 (P&F)

新規契約件数が好調に伸展したことにより保有契約件数が増加し、経常収益は順調に拡大。四半期純利益も前年同期から増加。

(百万円)

	24/3期1Q	前年同期差
経常収益	2,869	+473
経常利益	494	+521
四半期純利益	359	+380



8. 業績予想・株主還元

■ 24年3月期 通期業績予想

(億円)

	24/3期通期予想	23/3期実績
保険料等収入(3社合算)	20,600	21,683
太陽生命	6,700	6,433
大同生命	8,300	8,103
TDF	5,600	7,146
経常利益(連結)(△は損失)	1,460	△741
太陽生命	600	481
大同生命	890	840
TDF	10	110
当期純利益(連結)(△は純損失)	870	△1,321
太陽生命	380	268
大同生命	520	493
TDF	0	79
グループ修正利益	1,000	902

■ 株主還元

	24/3期予想	23/3期実績
1株当たり年間配当金	70.0円	62.0円
(うち中間配当)	35.0円	31.0円

※ 当ページに記載の各予想値は今後様々な要因によって実際の数値と大きく異なることがあります。

【参考】 損益関係（グループ連結）

(億円)

	23/3期1Q	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比
経常収益	7,523	7,888	+365	+4.9%
うち保険料等収入	5,355	5,600	+245	+4.6%
うち資産運用収益	1,940	2,072	+132	+6.8%
うち利息及び配当金等収入	864	763	△ 100	△ 11.6%
うちその他経常収益	227	214	△ 12	△ 5.7%
経常費用	7,955	7,537	△ 418	△ 5.3%
うち保険金等支払金	5,684	5,225	△ 459	△ 8.1%
うち責任準備金等繰入額	81	590	+508	+621.1%
うち資産運用費用	498	898	+399	80.1%
経常利益（△は損失）	△ 432	350	+783	-
特別損益	△ 23	△ 18	+5	-
契約者配当準備金繰入額	53	52	△ 1	△ 2.1%
税金等調整前四半期純利益 （△は純損失）	△ 510	279	+789	-
法人税等合計	82	89	+7	+9.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は純損失）	△ 592	189	+782	-
グループ修正利益	386	286	△ 100	△ 26.0%

<主な増減要因>

- ① 外貨建債券残高の削減等による、外国証券利息配当の減少等
- ② T D F の一時払商品の解約減少等
- ③ 為替ヘッジコストの増加等

【参考】 損益関係（国内生命保険事業）

(億円)

	太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命		
	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比	24/3期1Q	前年同期差	前年同期比
経常収益	2,482	△ 576	△ 18.8%	2,950	+359	+13.9%	2,701	+430	+18.9%
うち保険料等収入	1,462	△ 344	△ 19.1%	1,995	+86	+4.5%	2,117	+501	+31.1%
うち資産運用収益	640	△ 55	△ 8.0%	875	+270	+44.8%	566	△ 78	△ 12.1%
うち利息及び配当金等収入	370	△ 67	△ 15.3%	388	△ 26	△ 6.4%	14	△ 1	△ 9.1%
うちその他経常収益	379	△ 176	△ 31.7%	79	+2	+3.1%	17	+6	+56.9%
経常費用	2,341	△ 567	△ 19.5%	2,746	+422	+18.2%	2,683	+448	+20.0%
うち保険金等支払金	1,735	△ 654	△ 27.4%	1,393	+55	+4.1%	2,082	+139	+7.2%
うち責任準備金等繰入額	0	△ 0	△ 5.8%	401	△ 0	△ 0.1%	519	+355	+217.2%
うち資産運用費用	314	+82	+35.7%	584	+357	+157.9%	2	△ 40	△ 94.7%
経常利益	141	△ 9	△ 6.2%	204	△ 62	△ 23.6%	18	△ 17	△ 49.8%
特別損益	△ 8	+0	-	△ 8	+3	-	△ 1	+0	-
契約者配当準備金繰入額	28	+1	+4.0%	23	△ 2	△ 8.5%	-	-	-
税引前四半期純利益	104	△ 9	△ 8.4%	171	△ 56	△ 24.9%	16	△ 17	△ 51.4%
法人税等合計	32	△ 0	△ 0.9%	51	△ 14	△ 22.5%	5	△ 3	△ 40.4%
四半期純利益	71	△ 9	△ 11.4%	120	△ 42	△ 25.9%	10	△ 13	△ 55.8%
基礎利益	97	△ 54	△ 36.0%	143	△ 108	△ 43.2%	5	△ 9	△ 63.3%
修正利益 [※]	71	△ 9	△ 11.4%	120	△ 42	△ 25.9%	3	△ 33	△ 91.8%

※ T&Dフィナンシャル生命の数値は、当期純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出。

(白紙)

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

 T&Dホールディングス

 太陽生命

 大同生命

 T&Dフィナンシャル生命

 T&Dアセットマネジメント

 ペット&ファミリー
損害保険株式会社

 T&D ユナイテッド キャピタル

 All Right

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課	TEL 03-6745-6808